

# ザックについて

4月定例山行

4月29日 寂地山



参加者 21 名

CL 坂井 SL 八木幸、安永

松尾、熊野、鬼武、佐々木敏、三宅、円山、上別祖、村田、滝、牛尾清、宍戸  
原田、中島康、竹野弘、新村、三浦、(会友)牛尾フ、小山

コースタイム

県庁 7:30⇒寂地峡 9:20⇒右谷山寂地山分岐点 11:40～(昼食)～12:20→  
寂地山 13:20→松の木峠 16:20

○

登る前から登山のコースについてアドバイスをいただき当日迄迷いましたが予定通りのコースで実施。

寂地山までの登りは 4 時間費やすこと

になりました。結局時間的なこともあり右谷山、寂地山分岐点で昼食。しかも 30 分で。

会友さんの一人が体調を崩しましたがサブリーダーの八木さんや中島さん竹野

さんの援助があり、おおいに助かりました。

天候が良かったのが救いでした。又、カタクリの花は少し遅く満開までとはいきませんでした。それでも出会うことはできシャッターをさかんに押していた迷(?)カメラマンもいました。

新緑のブナ林の中を心ゆくまで歩くことができ、参加者から歓迎の声も聞けて、やはり予定どおりのコースで歩いてよかったと思いました。

(記 坂井エイコ)

○

### カタクリの花をたずねて

ほとんど毎年のように4月29日は、やまぼうしではカタクリを訪ねて山行を行ってきたが、まったくとっていいほどすっきりと晴れたときはなかった。

日ごろの行いのいい人ばかりが参加したためか、今年は見事な晴天の下での山行となった。

いつものコースとは逆に寂地峡から松の木峠への道をとった。まず、延齢の水で元気をつけ五竜の滝の急な階段道を登る。先日の雨で水量が多く見事な滝を見せてくれた。途中の道も、小さな滝の連続で、気分のいい山行だった。

若葉香る谷筋の道を緩やかに登り、最後の急登を終えると右谷山との別れ、ここで少し早い昼食をとった。食事をしながらあたりを気をつけてみるとそこらじゅうにカタクリの花が花。

食事後の山頂への登りは足が重くしんどい。

頂上は大勢の人で大盛況で、まるでお祭りみたいである。先に着いたやまぼうしの人を探すのが大変なくらいの人人人。全員が集合してようやく記念写真を撮った。

松の木峠へ向けて下山。西冠山までは思ったより遠かった。

白花のカタクリがあるという登山者の言葉に目を凝らしながら歩くと、あった！、たった1輪だけひっそりと登山道脇に咲いていた。早速写真を撮る。途中、カタクリが咲いている草原で敷物を広げ、食事をしていたグループがあったが、これは頂けない。たぶん花がないと確認してのことだと思うが、やはりいけないことだと思った。

西冠を過ぎいくつかのアップダウンを繰り返しようやく下山口についた。帰りのバスの窓からは、遅い桜や、ウワミズサクラの白いブラシのような花を見ながら帰途についた。

(記 松尾 幸男)



五竜の滝  
の一つ